

令和8年度 美唄市予算(案)のポイント



1 予算総額

一般会計	212億7,474万8,000円	(前年度当初 195億9,515万6,000円)対前年度比8.6%増
全会計	346億9,840万0,000円	(前年度当初 331億7,069万3,000円)対前年度比4.6%増

※全会計(10会計)⇒一般会計、特別会計5会計、企業会計4会計

2 基本的な考え方

都市像「ともに支え合い 分かち合う 田園文化創造都市 びばい」の実現に向け、少子高齢化や物価高騰などの社会経済情勢に対応するとともに、子育て支援の充実やDXを核とした行財政改革、官民連携による施策展開を図り、各施策を着実に推進します。

3 主な施策と事業

※(新規) = 事務事業インデックスに新たに登載する事業

1. とともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり [福祉・保健・医療]

●地域コミュニティ ・地域福祉会館整備事業 1,595千円 地域住民の安全・安心な活動拠点として、施設の維持管理を行います。令和8年度は、近年の酷暑傾向を踏まえた熱中症対策およびクーリングシェルター(暑熱避難施設)としての機能強化のため、5箇所の会館(和室)にエアコンを設置します。 ※対象会館: 茶志内、光珠内、日東、東明西、開発	●保健 ・乳幼児健康増進事業(拡充) 4,492千円 乳幼児の健康と発育・発達を支援するために、1ヶ月から3歳児までの定期健診や栄養・歯科相談、入院が必要な未熟児への医療給付や新生児聴覚検査の助成を行います。令和8年度からは、就学前児の発育・発達を確認する5歳児健診を新たに実施し、受動喫煙の影響を把握する尿検査と必要な相談支援も行います。
●高齢者福祉 ・間口除雪事業(拡充) 14,941千円 冬期間の安全で安心な在宅生活を支援するために、除雪が困難な高齢者や障がい者世帯の間口に残った雪を除雪します。 令和8年度は、歩道路線の対象要件をさらに緩和して実施します。	●地域医療 ・美唄市病院事業(医師住宅建設) 155,920千円 令和7年度に実施設計を行った医師住宅の新築工事を実施し、常勤医・研修医の確保とともに、24時間365日の診療体制の安定的な維持に努めます。

2. 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり [農業・食と観光・商工業・移住・定住]

●商工業振興 ・中小企業等振興補助事業 32,000千円 商工業の活性化と経営基盤の安定を図るため、商店街の賑わい創出や空き店舗を活用した開業、新規創業支援などを強力に展開します。事業者のニーズに即した実効性の高い支援を通じて、前向きな挑戦を後押しし、地域経済の持続的な発展を推進します。	・美唄国設スキー場整備事業 1,282,484千円 利用者に安全で快適な利用環境を提供するため、令和9年度のリニューアルに向けて計画的に整備します。 令和8年度はクワッドリフトの機器製作及びセンターハウス工事を実施します。
・情報化人材育成事業 26,102千円 産業構造の高度化や情報化の進展に対応できるIT人材の育成を継続的に進めるため、地域おこし協力隊を活用し、定期勉強会や仕事の受注につなげる能力開発研修などを行います。	●農業振興 鳥獣捕獲等事業(拡充) 24,160千円 農作物被害の防止と市民の安全確保のため、猟友会や警察など関係機関と連携し有害鳥獣の捕獲・見回りを強化します。また、箱わなの拡充やドローン捜索、緊急銃猟の体制整備を重点的に進め、実効性の高い対策で地域の安心・安全な生活環境を維持します。
●雇用対策 ・地域人材開発センター運営事業 26,773千円 地域における労働者等の技能・技術習得の拠点施設としての利用促進を図るため、引き続き運営費の一部を負担します。 また、令和8年度は、経年劣化に伴う実習棟屋根の葺き替え及び屋上防水工事を実施します。	美唄スマート農業推進事業 17,297千円 農業技術のデジタル化による生産性向上を図るため、スマート農業機械の導入支援や、「ICT農業推進協議会」を通じた普及啓発を推進します。 また、スマート農業のさらなる普及定着を目指し、機器の更新時期を迎えるドローン等の再取得に関する助成のあり方について検討を進めるなど、現場の実情に即した効果的な支援を通じて、次世代農業の確立を後押しします。
●観光・交流 ・観光振興事業(拡充) 29,325千円 観光振興の拡大を図るため、観光パンフレットの作成・配布や特産品PR、広域観光PR事業への参画などにより交流人口の増加を図ります。 令和8年度は、そらち工業団地特設会場において大型野外音楽フェス「SORAON 2026」を開催し、市外からの誘客を促進します。	●移住・定住 ・移住・定住促進事業 48,648千円 人口減少対策として移住・定住の促進を図るため、移住コーディネーターや定住支援員を活用し、移住相談窓口や空き家バンクの運営を行います。また、新築・中古住宅の購入費助成や家賃助成、札幌市へ通勤する移住者への通勤費助成などの支援を継続します。

3. 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり [子育て・教育・文化]

<p>●子ども・子育て支援</p> <p>・こども家庭センター運営事業(新規) 22,138千円</p> <p>・こども家庭センター開設整備事業(新規) 7,446千円</p> <p>子育て世代包括支援センター事業(母子保健機能)と家庭児童相談事業(児童福祉機能)を一体化した「こども家庭センター」を子育て支援センター2階に開設し、妊娠・出産・子育てに係るワンストップ相談窓口として、虐待予防から子育てに困難を抱える家庭まで、専門的な知識に基づき切れ目のない包括的な支援を強化します。</p> <p>また、開設にあたり、同施設の研修室を改修します。</p>	<p>・びばい・おいしい給食事業 91,628千円</p> <p>学校給食は「生きた教材」として教育活動に活用し、美唄産食材を多く使用した「ふるさと給食の日」や学校行事と連携した「行事食」を実施するとともに、食材費の高騰が続く中でも、献立の工夫や食品の組み合わせにより、成長期の児童・生徒に栄養バランスのとれた質の高い安全・安心な給食を提供します。</p> <p>また、子育て世帯への経済的支援として、学校給食費の無償化にも引き続き取り組みます。</p>
<p>・私立幼稚園給食費助成事業(新規) 2,672千円</p> <p>市内の私立幼稚園に通園する園児の保護者を対象に、給食費を助成し、子育て世帯の負担軽減を図ります。</p> <p>※公立保育所分は既存予算での対応により追加予算は不要</p>	<p>●生涯学習・スポーツ</p> <p>・公民館・市民会館管理運営事業 45,942千円</p> <p>施設の適切な管理運営に努めます。特に熱中症対策として会議室等の空調設備を更新し、安全で快適な利用環境を確保することで、市民の交流と地域活動を支えます。</p>
<p>●学校教育</p> <p>・中学校大規模改修事業 134,398千円</p> <p>学習環境の改善や安全・安心な教育環境の確保を目的に、経年劣化した校舎や設備の改修を行います。</p> <p>令和8年度は、令和7年度の実施設計に基づき、美唄中学校の給排水衛生設備の改修を実施します。</p>	<p>●文化・芸術</p> <p>・和田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄整備事業 425,436千円</p> <p>改修の仕上げとして、クラウドファンディングによる寄附金を活用し、アールスペースを整備します。日本遺産・市文化財の保全と安全確保を徹底し、本市の芸術文化の拠点を次世代へ確実に継承します。</p>
<p>・学校外活動費助成事業(新規) 3,640千円</p> <p>全中学2・3年生を対象に、学校の長期休業中に実施される塾の講習会や受験対策講座への参加を支援し、個々の目標に応じた多様な学びの機会を確保します。</p> <p>※助成額は、各講習会につき1人10,000円を上限(年2回まで)</p>	<p>・郷土史料館整備事業(新規) 9,871千円</p> <p>来館者が安心して利用できるような館内の展示環境を整えるとともに、市の歴史・文化資料を適切に保全するため、常設展示室における歴史年表や石炭コーナーの更新を行うほか、収蔵庫への保管棚や資料管理用の除湿空気清浄機の整備を行い、本市の貴重な歩みを次世代へ継承します。</p>

4. 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり [自然・環境・都市基盤・安全安心]

<p>●自然保護</p> <p>・宮島沼自然環境保全事業(新規) 8,373千円</p> <p>宮島沼の自然環境保全や生物多様性に配慮した活動を継続するとともに、地域おこし協力隊を活用し、新たな視点での情報発信や環境保全に取り組みます。また、将来の保全・再生の方向性を明確にし、より効果的な取組を推進するため、宮島沼の保全・再生に関するマスタープランを作成します。</p>	<p>●都市空間と住環境の形成</p> <p>・公営住宅建替事業 83,973千円</p> <p>建物の耐用年数が経過した「いなほ団地」「南美唄団地」「進徳東団地」を移転集約し、入居者が安全・安心で快適に暮らせる居住環境を整備します。令和8年度は、用地地盤調査、敷地測量、実施設計及び実施設計支援業務、建設工事に伴う家屋調査を実施します。</p>
<p>●循環型社会と地球温暖化対策</p> <p>・ごみ運搬車整備事業 31,736千円</p> <p>継続的かつ安定的なごみ収集運搬を推進するため、過年度に債務負担行為を設定した4tパッカー車1台と4t平ボディ1台を更新します。さらに、納期が約2年かかる4tパッカー車1台については、令和10年度の更新に向け債務負担行為を設定します。</p>	<p>●公共交通</p> <p>・地域公共交通活性化・再生総合事業 44,831千円</p> <p>「美唄市地域公共交通計画」に基づき、持続可能な輸送サービスの整備に取り組みます。</p> <p>また、市民バスのダイヤ改正による路線の最適化を図るとともに、AIデマンドバスの実証運行を継続し、移動時間の短縮や利便性の向上など、地域の実情に即した効率的で新しい公共交通システムの構築を推進します。</p>
<p>●都市基盤整備</p> <p>・都市計画街路整備事業 228,859千円</p> <p>利便性や安全性の向上、生活環境の改善を図るため、市街地等における未改良・未舗装の道路や側溝の整備を行います。</p> <p>主要路線である沼貝線については、都市構造再編中支援事業として、引き続き改良整備を実施します。</p>	<p>●消防・救急</p> <p>・消防通信指令施設整備事業 326,918千円</p> <p>南空知管内の5消防本部が連携・協力して消防指令業務を共同運用し、住民サービスの向上と持続可能な消防体制の確立を図るため、消防指令システムと消防救急デジタル無線の整備を行います。</p>

5. 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり [協働・行政改革]

<p>●協働のまちづくり</p> <p>・美唄シティプロモーション推進事業 40,893千円</p> <p>2040年の未来を見据え、市民の手で策定したシンボル「Be Beautiful 美しくあれ。」を軸に、美唄ブランドの定着を図ります。</p> <p>令和8年度は、地域の困りごとを「お手伝い」という形で市民や市外の方が楽しく解決し合う仕組みなど、誰もが主体的にまちに関わる「活動人口」を創出します。こうした一人ひとりの小さな実践が連鎖する市民との協働のあり方の「美唄モデル」構築を目指し、官民一体で美唄の魅力と共に創り上げるための推進計画を策定します。</p>	<p>●共生社会(人権・多文化・ジェンダー平等の推進)</p> <p>・男女共同参画社会形成促進事業 456千円</p> <p>「美唄市男女共同参画計画」に基づき、市民意識啓発のための広報活動や講演会の開催、女性相談などを継続して実施するとともに、施策の進捗状況を把握・公表します。また、令和8年度から新たに導入するパートナーシップ制度の運用にあたり、性的マイノリティへの理解と尊重を深める取組を推進します。</p>
<p>・子どもとまちの未来会議運営事業 4,905千円</p> <p>18歳以下の子どもたちが「まちづくり」のアイデアについて提案を行う「子どもとまちの未来会議」を開催し、優れた提案は市の予算で事業化します。子どもたちの成長やまちづくりへの参加を重視し、原体験の機会を提供することで、地域への愛着や創造性、豊かな学びを育みます。</p>	<p>●地域ICT化</p> <p>・行政DX推進事業 60,050千円</p> <p>・地域社会DX推進事業 24,825千円</p> <p>地域課題の解決に向け、デジタル基盤の整備や基幹システムの更新、業務改革を一体的に推進します。</p> <p>また、行政運営を牽引するDX推進リーダーの育成を図るとともに、商工会議所等との緊密な連携による地域へのデジタル実装に向けた検討を加速させるなど、外部の専門的な知見も活用しながら、住民サービスの向上と持続可能な行政運営を力強く展開します。</p>